

ホタテガイ採苗速報

全湾で産卵が始まりました

令和8年2月18～20日に湾内7地点で養殖2年貝の成熟度調査を、2月25日に湾内6定点でラーバ予備調査を、2月20日に久栗坂実験漁場で半成貝の成育状況調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均で19.1、東湾平均で22.8であり、それぞれの前回の値20.6、23.4から低下していました(表1、図1、2)。生殖巣重量はほとんどの調査地点で、平年値(H5-R7平均)よりかなり軽い状況です。

2 ホタテガイ等ラーバ予備調査

ホタテガイラーバは、西湾平均と東湾平均で4個/m³出現しました(表2、図3)。ムラサキガイとキヌマトイガイのラーバは、全湾平均でそれぞれ188個/m³、529個/m³出現しました(表2、図4、5)。

3 実験漁場における半成貝の成育状況

2月20日調査時の久栗坂実験漁場における半成貝(15枚/段)の平均殻長は4.8cm、平均重量は13.2gで、昨年の殻長4.0cm、重量7.1gより大きく、かなり重いものの、H21-R7の平均値の殻長6.9cm、重量33.6gよりかなり小さく、かなり軽い状況です(図6、7)。

4 海況

15m層の2月第5半旬平均水温は、平館プイでやや高め、青森プイと東湾プイで平年並みとなっています。

5 今後の見込み

一部海域を除き、生殖巣指数が低下していることから、全湾で産卵が始まったと考えられます。ただし、全地点で生殖巣指数の大幅な低下が見られなかったこと、ホタテガイラーバがまだほとんど確認されていないことから、本格的な産卵は始まっておらず、今後、水温の昇温刺激があると大規模産卵が起こる可能性があります。産卵状況及び採苗器投入時期については今後の情報を参考にしてください。

生殖巣重量は平年よりかなり軽いため、1個体あたりの産卵数が少なくなる可能性があります。また、秋季養殖ホタテガイ実態調査時の親貝枚数は677万枚と過去10年平均値の約5%と極端に少ない状況でした。引き続き、親貝確保(産卵が終わるまで出荷を最小限に抑えること、へい死を防ぐ養殖管理を行うことなど)に努め、ラーバが少なくなる場合に備えて採苗器の数や中身の流し網を増やすなどの準備を進めてください。

半成貝の殻長は平年よりかなり小さい状況です。小さい貝を耳吊りすると、穴を開ける際に外套膜を傷つけやすくなること、マダイの食害に遭いやすい傾向があることから、成貝向けの貝は丸籠やパールネットでの養殖を検討しましょう。

表1 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 2/20)

調査地点	調査日	殻長(cm)			全重量(g)			軟体部重量(g)			軟体部指数			生殖巣重量(g)			生殖巣指数			異常貝率(%)			へい死亡率(%)	
		今回	前回	平均 ^{※1}	今回	前回	平均 ^{※1}	今回	前回	平均 ^{※1}	今回	前回	平均 ^{※1}	今回	前回	平均 ^{※1}	今回	前回	平均 ^{※1}	今回	前回	今回	前回	
蓬田村	2月20日	9.3	9.0	10.5	84.4	74.1	122.9	34.7	29.8	50.6	40.5	39.6	41.1	7.2	7.0	11.4	19.7	22.1	21.8	3.3	3.3	12.9	10.6	11.6
青森市奥内	2月18日	8.7	8.3	10.5	66.8	58.6	128.3	26.6	24.3	46.3	40.1	40.9	36.0	5.5	5.8	10.4	20.1	22.5	22.0	13.3	10.0	7.2	41.4 ^{※2}	27.5
久栗坂実験漁場	2月20日	8.6	9.0	11.2	78.3	83.3	158.0	29.4	30.3	66.6	37.5	36.6	42.1	6.1	7.1	14.8	20.6	22.8	22.0	3.3	3.3	10.6	7.7	6.7
平内町浦田	2月18日	8.4	9.8	10.2	65.3	80.1	117.8	23.1	27.9	50.2	35.3	34.7	42.5	3.8	4.3	10.1	16.3	15.0	19.6	6.7	0.0	8.2	25.6	6.7
西湾平均		8.8	9.0	10.6	73.7	74.0	131.8	28.4	28.1	53.4	38.4	37.9	40.4	5.7	6.0	11.7	19.1	20.6	21.4	6.7	4.2	9.7	14.6	13.1
野辺地町	2月18日	8.8	8.9	10.8	82.9	86.9	145.7	33.5	36.6	66.1	40.5	41.7	45.3	7.6	8.6	16.9	22.3	22.9	25.4	6.7	3.3	3.2	0.0	16.3
川内町	2月18日	9.2	9.8	10.1	101.1	105.0	116.3	42.5	41.1	53.8	41.7	39.0	46.3	10.7	12.0	12.2	25.2	28.9	22.3	3.3	10.0	2.8	49.4	20.0
川内実験漁場	2月20日	9.0	8.8	10.7	88.2	76.9	140.4	37.4	29.5	64.7	41.6	37.4	46.0	8.2	5.7	15.3	20.9	18.3	23.7	0.0	7.4	5.6	3.8	12.9
東湾平均		9.0	9.1	10.5	90.7	89.6	134.1	37.8	35.7	61.5	41.3	39.4	45.9	8.8	8.8	14.8	22.8	23.4	23.8	3.3	6.9	3.9	17.7	16.4
全湾平均		8.8	9.1	10.6	81.0	80.7	132.8	32.4	31.3	56.9	39.6	38.5	42.8	7.0	7.2	13.0	20.7	21.8	22.4	5.2	5.3	7.2	16.2	14.5

^{※1}H5-R7年の平均値

^{※2}入替時に死貝が混ざっていた可能性がある(平均から除く)

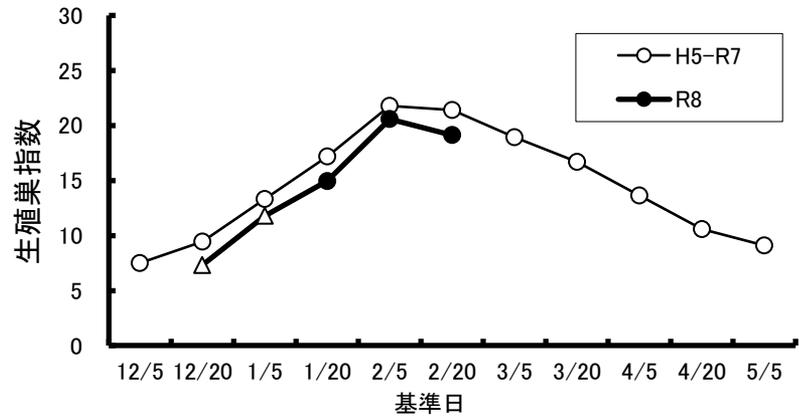


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

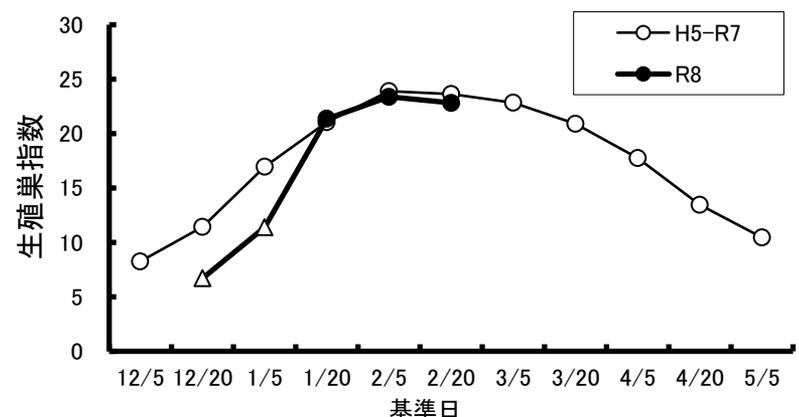


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

△: 調査地点が1地点

発行元: 地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所
 住所: 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
 TEL: 017-755-2155 FAX: 017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL: https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/sui_sougou/
 ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード (1)
 海ナビ@あおもり 全モバイル端末共用QRコード (2)
 ほたてナビ スマートフォン用QRコード (3)

表2 ホタテガイ等ラーバ出現状況
(2月25日実施:個体/m³)

	ホタテガイ	ムラサキイガイ	キヌマトイガイ
西湾平均	4	163	325
東湾平均	4	213	763
全湾平均	4	188	529



図3 調査地点毎のホタテガイラーバ平均出現数 (個/m³)

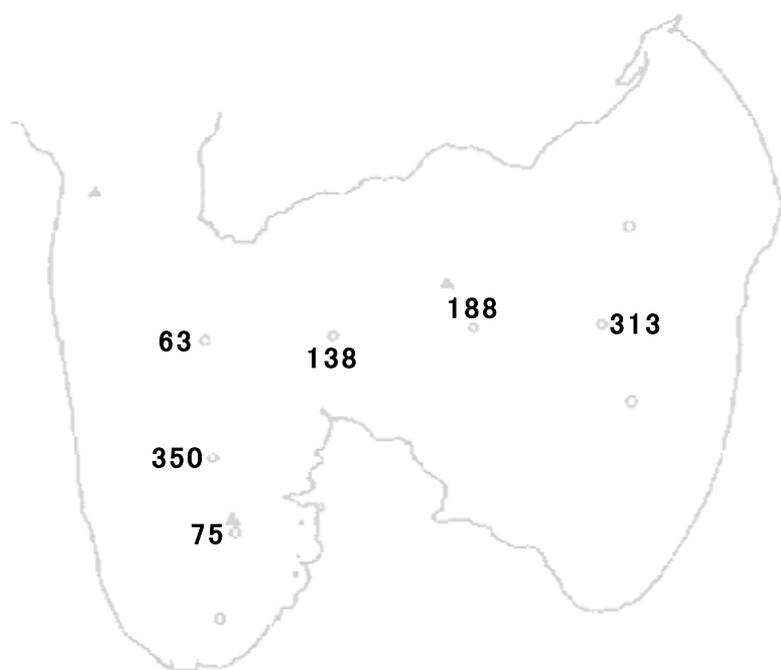


図4 調査地点毎のムラサキイガイラーバ平均出現数 (個/m³)

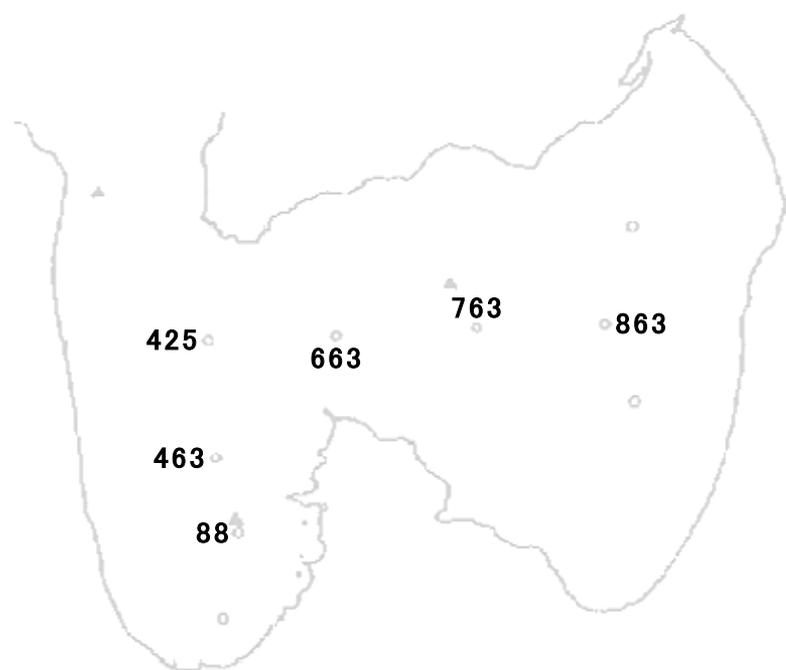


図5 調査地点毎のキヌマトイガイラーバ平均出現数 (個/m³)

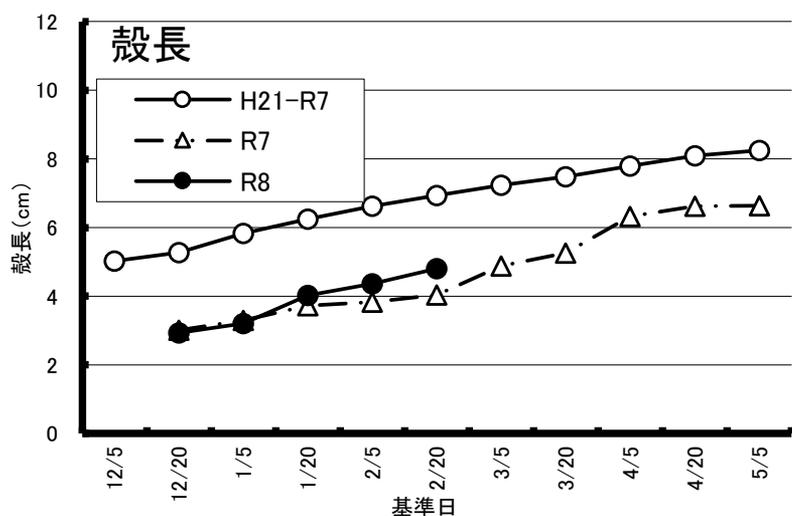


図6 久栗坂実験漁場における半成貝 (15枚/段) の殻長の推移

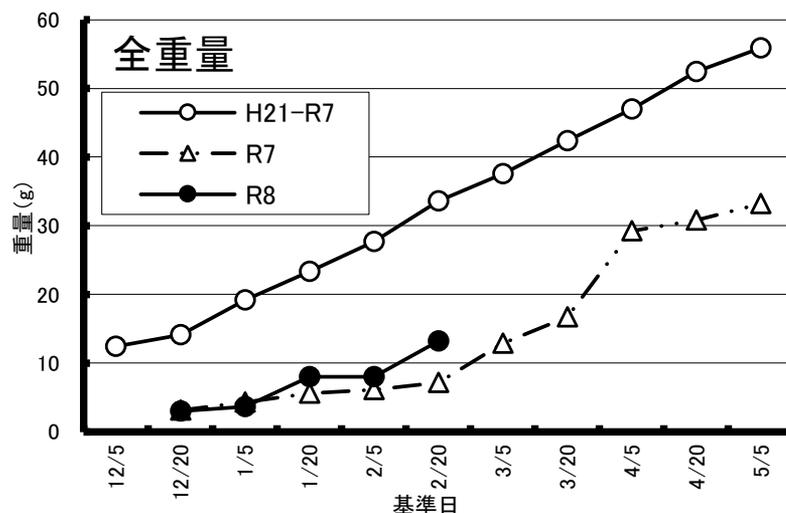


図7 久栗坂実験漁場における半成貝 (15枚/段) の全重量の推移